

1回の採血で

※1 三大疾病と認知機能低下のリスクをチェック

アミノインデックス®リスクスクリーニング (AIRS®)

現在
「がん」
である可能性

10年以内に
「脳卒中」
を発症するリスク※2

10年以内に
「心筋梗塞」
を発症するリスク※2

現在
「認知機能」
が低下している
可能性※3

※1 現在がんである可能性、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクを評価します。
 ※2 脳卒中と心筋梗塞は、2つ合わせてAILS(脳心疾患リスク)として評価します。
 ※3 AILS(認知機能低下)を受診されるかどうかは、ご自身でお選びいただけます。
 なお、49歳以下の方は認知機能評価を選択できません。

検査の内容と検査前の注意事項

検査項目		評価内容	対象年齢	価格
男性	AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん	25～90歳 <small>前立腺がんは、40～90歳</small>	25,300円 (税込)
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30～74歳	
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳	
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ		
	AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※49歳以下の方は認知機能評価を選択できません	50～100歳 ※	
女性	AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん	25～90歳 <small>子宮がん・卵巣がんは、20～80歳</small>	25,300円 (税込)
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30～74歳	
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳	
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ		
	AILS(認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性 ※49歳以下の方は認知機能評価を選択できません	50～100歳 ※	

- ・AIRS®は日本人を対象として開発された検査です。日本人以外の結果は報告されますが、評価対象外となります。また、AILS(認知機能低下)の結果は受診を選択された方のみ報告されます。
- ・検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は検査結果に影響がありますので、検査を受けていただくことはできません。また、49歳以下の方は認知機能評価を選択できません
- ・AICS®では子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することはできません。
- ・脳卒中の方、心筋梗塞の方、糖尿病の方、認知症の方、軽度認知障害の方(いずれも医療機関で診断を受けた方、あるいは治療中の方)の場合、その疾病・所見に関するAILS値や生活習慣改善タイプは出力されますが、いずれも評価対象外となります。

食事

検査前8時間は
水以外は



検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで下さい。

運動

当日朝は



正しい検査結果を得るために、検査当日朝の運動はお控え下さい。

お薬

事前に相談を



薬剤の検査への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談の上、その指示に従って下さい。

お問い合わせ

TEL : 03-5816-0720

一般社団法人オリエント労働衛生協会東京支部

オリエント上野健診センター

〒110-0005 東京都台東区上野1-20-11 鈴乃屋ビル地下1階

1021-01

◇がん臨床病期別 5年相対生存率 男女計 (全がん)



公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'19」
全国がんセンター協議会加盟施設における5年相対生存率 (2009~2011年診断例) より作成

◇三大疾病の入院日数



平成29年患者調査の概況 (厚生労働省)
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/17/index.html>) より作成

早期の段階で発見されれば、がんの相対生存率は高くなると報告されています。

脳卒中は三大疾病の中で最も入院日数が長く、要介護原因のトップ3*にも入ると報告されています。

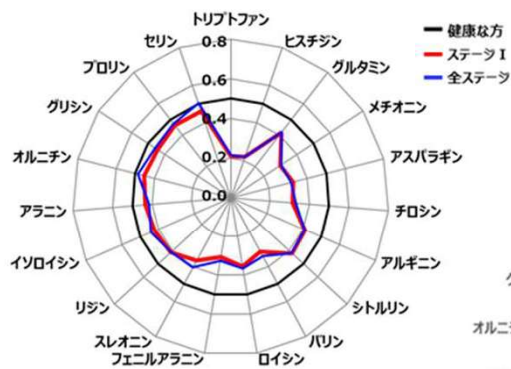
*平成28年国民生活基礎調査(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html>

胃がんの方の アミノ酸濃度バランス

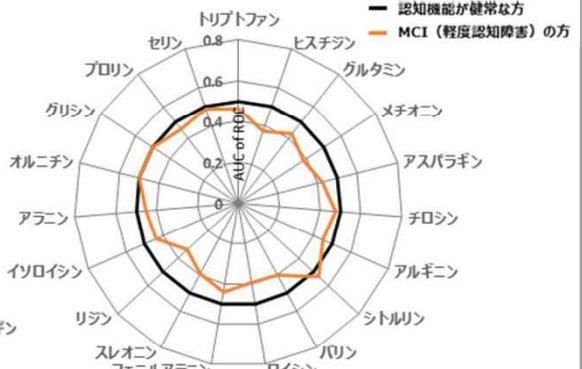
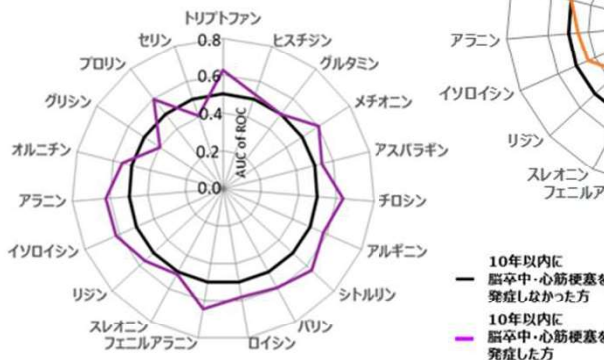
10年以内に脳卒中・心筋梗塞を 発症した方のアミノ酸濃度バランス

MCI (軽度認知障害)[※]の方の アミノ酸濃度バランス

※49歳以下の方は認知機能評価を選択できません



出典: PLoS ONE September 2011/
Volume 6/Issue 9/e24143



出典: 味の素株式会社
共同研究プロジェクト 提供データ

健康な方の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされています。しかし、さまざまな病気の可能性やリスクが高くなると、**血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化**することが分かっています。

- AICS®は採血を行った時の、現在がんである可能性を評価する検査で、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。また、がんであるか否かを判断するものではありません。ランクAでもがんでないとは言い切れません。ランクBやCであっても必ずがんであるということではありません。AICS®はその他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。
- AILS(脳心疾患リスク)は10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク、AILS(糖尿病リスク)は4年以内に糖尿病を発症するリスク、AILS(認知機能低下)は現在認知機能が低下している可能性を評価するもので、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。